

住民アンケート最終報告

6月15日から30日にかけて行った「園部町・八木町・日吉町・美山町の新しいまちづくりに向けたアンケート調査」の最終報告がまとめ、第4回合併協議会に報告されました。

報告書については、協議会ホームページから閲覧することができますが、各町役場で閲覧・コピー（有料）することもできます。

ここでは、報告書における「分析結果の概要」を抜粋してご紹介します。



「園部町・八木町・日吉町・美山町の新しいまちづくりに向けたアンケート調査」報告書から一部抜粋

Ⅲ 分析結果の概要

① 定住意向

今後の定住意向は、「これから園部町・八木町・日吉町・美山町に住み続けたい」とする回答者が約8割を占めて最も多かった。

一方、「京都府内の他の市町村に引越したい」とする回答者は1割弱、「京都府外の地域に引越したい（予定がある）」とする回答者は4・3%であった。

なお、引越したいとする回答者にその理由を質問したところ、「買い物など日常生活面で不便だから」（31・5%）という意見が最も多く、次いで「働く場所が少ないから」（18%）、「通勤・通学が不便だから」（16・3%）などとなっている。

② 行政サービス等に対する満足度

「総合的な住みやすさ」の満足度は、満足計が37・9%（満足7・5%、やや満足30・4%）で、不満計の27%（やや不満19・6%、不満7・4%）

を上回っている。

満足計が不満計を上回っているものとしては、「山林、河川、田園風景などの自然環境」「小学校・中学校などの教育施設」「図書館・公民館などの文化施設」「高齢者や障害者のための福祉サービス」「ごみの分別収集やリサイクル活動」などがあげられる。

一方、不満計が満足計を上回るものとしては、「雇用の場」「買い物のできる施設」「鉄道やバスの利用の便」「若者などの定住のための公営住宅などの整備」「企業誘致や新しい産業の創造」などがあげられた。



3 合併にともなう期待する効果、不安な点

・合併にともなう期待する効果は、「新しい取り組みにより活気のあるまちづくりが期待できる」(32.6%)や「各地域の個性をふまえてまちの総合力が発揮される」(30%)という意見が多かった。

・一方、合併にともなう不安については、「役場が遠くなりきめの細かい行政サービスが受けられなくなる」(56%)や「中心部に開発がかたよりバランスのよいまちづくりが行われない」(54.9%)、「公共料金などが上がり住民の負担が増加する」(46.7%)という意見が多かった。



4 各町における誇り

・各町における誇りについて質問したところ、「山林・河川・田園風景などの自然環境」が7割を超えて最も多かった。続いて、「安心して暮らせる住環境」が4割弱、「京野菜などの特産品」や「医療施設」が約2割となっている。

5 新市の将来イメージ

・新市の将来イメージについては、「健康・安全・安心」(42.3%)及び「自然・環境・共生」(41.3%)が多く、次いで、「やさらぎゆとり・うるおい」(30.4%)、「活力・にぎわい」(19.3%)、「ひと・まち・生活」(19.3%)などが続いている。

6 新しいまちづくりで力を入れていくべき取り組み

・新市における新しいまちづくりにおいて力を入れていくべき取り組みとしては、「若者が定住するためのまちづくりの推進」が66.9%と最も多く、次いで、「鉄道・バスなど公共交通網の充実」(53.6%)、「山林・河川・

田園風景など自然環境の保全」(52.7%)、「高齢者福祉の充実、介護保険への対応」(48.8%)などの意見が多かった。

7 新しいまちづくりのあり方などに関する自由意見

・全般的に多かった意見は、「中心部にサービスが偏らないバランスのとれたまちづくりの推進」「バスや鉄道などの公共交通網、道路網の充実」「若者が定住できるまちづくりの推進」「自然環境の保全」「福祉サービスの充実」などであった。

